

## LunaLuna

### 子宮頸がんとHPV ワクチンに関する意識・実態調査 2024

(株)エムティーアイが運営する、ライフステージや悩みにあわせて女性の一生をサポートする健康情報サービス『ルナルナ』では、定期的にサービス内で様々な意識調査を行い「ルナルナ通信」として発信しています。

Vol.63では、女性の健康教育と婦人科系疾患の予防啓発活動を行う一般社団法人シンクパール(代表理事:難波美智代)と毎年共同で実施している、「子宮頸がんヒトパピローマウイルス(以下、「HPV」) ワクチンに関する意識・実態調査 2024」の結果をお届けします。

今回の意識調査では、子宮頸がん検診を受けたことがある人は30代以上では8割以上となりましたが、20代前半では約4割と半数近い結果となりました。また、子宮頸がんにつながるHPV感染を予防する効果のあるHPVワクチン接種の「積極的勧奨」再開を受け、接種を希望しない・迷っている人は3割以上おり、その理由として、副反応を心配する声や信頼できる情報がないといった声が目立ちました。

自治体が行うHPVワクチン接種に関する啓発活動については、知らないと回答した人が8割以上となり、信頼できる情報にもっと簡単にアクセスできる環境づくりが必要だと感じました。本調査の結果が、社会全体であらためて子宮頸がんやHPVやワクチン接種について考え、理解を深めるきっかけにしてほしいと思います。

調査実施時期:2024年2月22日(木)~2024年2月26日(月)

調査方法および人数:『ルナルナ』、『ルナルナ 体温ノート』、『ルナルナ ベビー』にて調査 有効回答数:女性 2,230名

#### ■ 子宮頸がん検診の受診経験は20代前半で約4割。20歳になったらまず受診を！

#### Q. あなたは「子宮頸がん検診」を受けたことがありますか？

はじめに、子宮頸がん検診を受けたことがあるかを聞いてみました。「受けたことがある」71.6%、「今後、受ける予定がある」6.1%、「受ける予定はない」22.3%となりました。

年齢別でみると、30代以降は8割以上の人が受けたことがあると回答していました。一方で、「25~29歳」69.6%、「20~24歳」では41.6%となり、20代前半では半数を下回る結果となりました。

#### Q. どのくらいの頻度で、子宮頸がん検診を受けているか教えてください。

国の指針では、20歳から2年に1回の子宮頸がん検診の受診が推奨されていますが、実際にどのくらいの頻度で受診をしているのでしょうか。

「1年に1回受診している」39.1%で最も多く、次いで「2年に1回受診している」22.1%、「過去に1回だけ、受診している」20.5%、「不定期だが、受診している」18.3%となりました。

年齢別に見てみると、30歳以上は1年に1回、もしくは2年に1回受診している人が6割以上となり、「25~29歳」54.6%、「20~24歳」31.0%となりました。

子宮頸がんは年間1万人以上が罹患し約2,900人が亡くなっており、また、治療によって30歳代までに年間約1,000人が妊孕性(妊娠するための力)を失ってしまうと言わ

Q あなたは「子宮頸がん検診」を受けたことがありますか？

|        | 受けたことがある | 今後、受ける予定がある | 受ける予定はない |
|--------|----------|-------------|----------|
| 10代    | 7.6%     | 19.3%       | 73.1%    |
| 20-24歳 | 41.6%    | 14.8%       | 43.5%    |
| 25-29歳 | 69.6%    | 6.7%        | 23.7%    |
| 30-34歳 | 81.2%    | 3.1%        | 15.7%    |
| 35-39歳 | 80.0%    | 4.9%        | 15.1%    |
| 40-44歳 | 87.3%    | 1.9%        | 10.8%    |
| 45-49歳 | 87.9%    | 2.1%        | 10.0%    |
| 50歳以上  | 87.3%    | 2.9%        | 9.8%     |
| 全体     | 71.6%    | 6.1%        | 22.3%    |

ルナルナ調べ (n=2,204)

Q どのくらいの頻度で、子宮頸がん検診を受けているか教えてください。

|        | 2年に1回受診している | 1年に1回受診している | 不定期だが、受診している | 過去に1回だけ、受診している |
|--------|-------------|-------------|--------------|----------------|
| 10代    | 0.0%        | 7.7%        | 30.8%        | 61.5%          |
| 20-24歳 | 12.6%       | 18.4%       | 9.2%         | 59.8%          |
| 25-29歳 | 26.1%       | 28.5%       | 15.3%        | 30.1%          |
| 30-34歳 | 31.4%       | 32.0%       | 18.1%        | 18.5%          |
| 35-39歳 | 17.9%       | 43.0%       | 21.2%        | 17.9%          |
| 40-44歳 | 19.5%       | 49.6%       | 15.8%        | 15.1%          |
| 45-49歳 | 22.0%       | 44.1%       | 23.7%        | 10.2%          |
| 50歳以上  | 14.6%       | 59.6%       | 16.9%        | 9.0%           |
| 全体     | 22.1%       | 39.1%       | 18.3%        | 20.5%          |

ルナルナ調べ (n=1,572)

れています※1。一方で、早期に発見されれば治療により治癒しやすいがんとされていますので、定期的に子宮頸がん検診を受け早期発見・早期治療に努めることが重要です。自治体から検診を無料もしくは安価で受けられるクーポンも配布されていますので、20歳になったらまず検診を受けてほしいと思います。

■ HPV ワクチンの認知度は 8 割以上。一方で、公費助成で受けられることを知っている人は約 3 割  
 Q. 「子宮頸がん」の予防として、HPV 感染を予防するワクチンがあることを知っていますか？

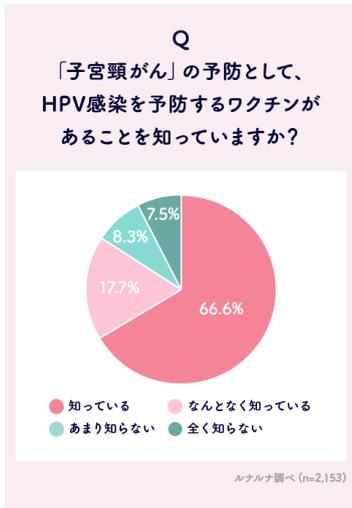
子宮頸がん検診を定期的にするだけでなく、予防策を講じることも大切です。子宮頸がんにつながる HPV 感染を予防する効果のある HPV ワクチンについての認知度はどれくらいでしょうか。「知っている」66.6%と「なんとなく知っている」17.7%を合わせると、8 割以上の人が知っているという結果となりました。

Q. 女性が接種する場合の HPV ワクチンが、「厚生労働省の定めている予防接種」としてどのように定められているか知っていますか？

では、女性が接種する場合の HPV ワクチンが、厚生労働省にどのように定められた予防接種であるのか「知っているか」を聞いてみると、最も多い回答が「知らない」47.7%、次いで「定期接種（公費助成）として接種可能」34.3%、「任意接種（自費）として摂取可能」15.5%となりました。

公費助成について知っている人は 3 割ほどでしたが、HPV ワクチンは 16 歳までに接種すると最も効果が高いと言われており※1、その対象となる小学校 6 年生から高校 1 年生相当の女性が無料（公費）で接種できることを知っているか尋ねると、7 割以上の女性が「知っている・なんとなく知っている」と回答しています。

子宮頸がんにつながる HPV の感染は、HPV ワクチン接種で防ぐことができ、それにより子宮頸がんの原因の 50～70%を防げると言われています※1。公費助成で受けられる対象の人は、接種についてぜひ検討してほしいと思います。



Q 女性が接種する場合の HPV ワクチンが、「厚生労働省の定めている予防接種」としてどのように定められているか知っていますか？

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 定期接種（公費助成）として接種可能 | 34.3% |
| 任意接種（自費）として摂取可能   | 15.5% |
| 接種は推奨されていない       | 1.7%  |
| 接種は禁止されている        | 0.2%  |
| 知らない              | 47.7% |
| その他（自由回答）         | 0.7%  |

ルナルナ調べ (n=2,132)

■ 「積極的勧奨」再開を受け、接種したい人は約 3 割、接種を希望しない理由は副反応を心配する声が多く・・・

Q. 対象者に個別に接種を呼びかける「積極的勧奨」の再開を受けて、あなたは HPV ワクチンを接種したいと思いますか？

2013 年から 2021 年の間、接種後に生じる多様な症状などについて十分に情報提供できない状況にあったことから、個別に接種を勧める取組を一時的に差し控えていました。しかし、2021 年 11 月に行われた専門家の会議により、安全性について特段の懸念が認められないことがあらためて確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、対象者に個別に接種を呼びかける「積極的勧奨」が 2022 年 4 月より再開されています※2。この再開を受け、HPV ワクチンを接種したいかを聞いてみたところ、接種対象者のうち接種を希望する人（「すでに接種した」「接種したい」「どちらかという接種したい」の合算）は 35.5%、接種を希望しない・迷っている人（「できれば接種は

Q 対象者に個別に接種を呼びかける「積極的勧奨」を再開を受けて、あなたは HPV ワクチンを接種したいと思いますか？

|              |       |
|--------------|-------|
| すでに接種した      | 16.7% |
| 接種したい        | 7.3%  |
| どちらかという接種したい | 11.5% |
| 接種を迷っている     | 11.0% |
| できれば接種はしたくない | 7.3%  |
| 接種する予定はない    | 16.6% |
| 接種対象者ではない    | 29.7% |

ルナルナ調べ (n=2,053)





- ※1:厚生労働省「HPV ワクチンについて知ってください 子宮頸がん予防の最前線」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou\\_kouhou/kouhou\\_shuppan/magazine/202205\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202205_00001.html)
- ※2:厚生労働省「ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\\_catch-up-vaccination.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html)
- ※3:ルナルナ×シンクパール 共同調査～女性特有のがんと HPV ワクチンについて～  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000877.000002943.html>
- ※4:厚生労働省「女性の未来の健康のため、今からできること ワクチンと検診で防ぐ子宮頸がん」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou\\_kouhou/kouhou\\_shuppan/magazine/202305\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202305_00002.html)
- ※5:厚生労働省「HPV ワクチンに関する Q&A」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\\_qa.html#Q2-21](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_qa.html#Q2-21)
- ※6:「FEMCATION®」は(株)エムティーアイの登録商標で、FEMALE(女性)と EDUCATION(教育)を掛け合わせた造語です。

## LunaLuna

|         |   |
|---------|---|
| サイト名    | ルナルナ®   |
| 概要      | <p>ライフステージや悩みにあわせて女性の一生をサポートする健康情報サービス</p> <p>&lt;無料コース&gt;生理日予測を始めとする、女性のカラダとココロの健康管理サービス。過去の生理日から生理日・排卵日を予測し、日々の体調変化をお知らせします。</p> <p>&lt;ベーシックコース&gt;デリケートな女性のカラダとココロの健康情報サービス。生理日管理に加えて、あなたにあったカラダやお肌、ココロの状態を 365 日サポートします。</p> <p>&lt;ファミリーコース/プレミアムコース&gt;妊活から妊娠・出産までを独自の予測ロジックやアドバイスでサポートするサービス。妊娠しやすいタイミングを「仲良し日」としてお知らせし、妊活を手厚くサポートします。</p> |
| 課金額(税込) | <p>ベーシックコース:月額 198 円(税込)、ファミリーコース:月額 330 円(税込)</p> <p>プレミアムコース:月額 400 円(税込)</p>   |
| アクセス方法  | 『ルナルナ』で検索   |

※『ルナルナ』は(株)エムティーアイの登録商標です。



### 報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ広報部  
 TEL: 03-5333-6755 FAX: 03-3320-0189  
 E-mail: mtipr@mti.co.jp  
 URL: <https://www.mti.co.jp/>

### 一般の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ コンタクトセンター  
 TEL: 050-8882-5921  
 E-mail: [lnln\\_support@cc.mti.co.jp](mailto:lnln_support@cc.mti.co.jp)